

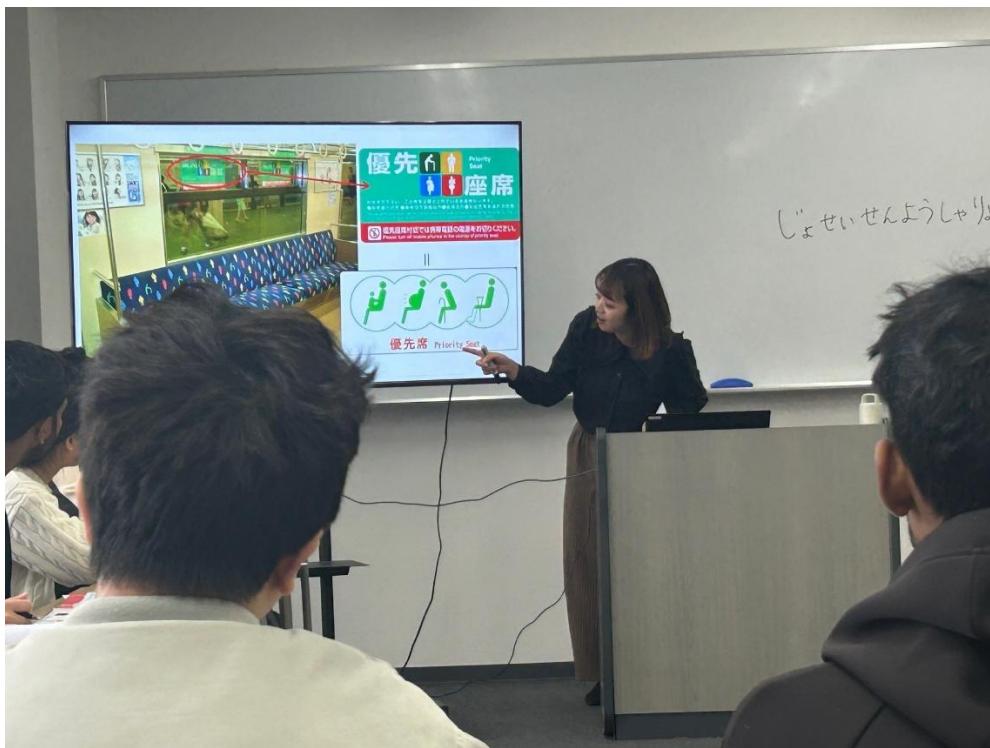
NO.44



港区のみなさん、こんにちは！2025年も終わりが近づいてきました。万博で大いにぎわい、駅の整備や地域での国際化が進んだこの1年を、新たな港区の歴史に刻みたいと思います。港区制100周年は3月末まで続きますので、どうぞよろしくお願ひします。

さて、港区では中国・韓国朝鮮・ベトナム・ネパールなど多国籍の人々が同じ区民として暮らしています。先日、港区に初めての日本語学校「みなと日本語学校」が区役所のそばに開校し、授業見学に行ってきました。バングラデシュやネパールから来て2週間ほどの若者たちが、真剣に日本語や日本のマナーを学んでいました。自分の娘と年の変わらない若い学生たちが、異国でがんばっている姿に胸を打たれました。

学校としても港区で最初の日本語学校として、学生たちが防災やイベントなどの地域活動に関わる機会ができれば嬉しいとのことでした。日本語を勉強している学生たちなので英語ではなく「やさしい日本語」を使って交流してもらえると助かります。万博で国際交流を楽しんだレガシーを、引き継ぎましょう！



やさしい日本語 ロゴ



「やさしい日本語」の紹介ページはこちら

